

OKAYAMA COC+

NEWS LETTER

岡山県立大学 COC+ニュースレター

PICK UP

真庭市やしろ竹あかりの 竹灯籠づくりワークショップへ参加

VOL.3

2018.12.1



▲ 11/17 ☒ 初めてのドリルに悪戦苦闘する大依さん

放棄竹林の竹を地域資源として活用して竹灯籠を飾るイベント「やしろ竹あかり」を大晦日に開催するにあたり、本学造形デザイン学科の2年生4名が竹灯籠のデザインを提案しました。また、竹灯籠づくりワークショップにも参加し、岡山商科大学の学生らとともに竹灯籠を共同制作しました。

大依 奈津さん

造形デザイン学科2年生

4名のデザイン学部生が年末に飾られる竹灯籠の制作をさせていただきました。地域の方々と協力して作り、竹灯籠が出来上がった時はとても感動しました。一からものを作る楽しさや、参加された皆さんの温かさを感じ、非常に良い経験となりました。

参加学生から
ひとこと!

WORKSHOP



ロボットに興味津々！親子連れ

8/4 田～
8/31 金

見せてもらおうか 岡山ロボット研究所の性能とやらを

- 場所** 人と科学の未来館サイピア(岡山市)
- 担当** 情報システム工学科… 渡辺富夫教授、石井裕准教授
- 連携団体** 人と科学の未来館サイピア、岡山大学
岡山理科大学、岡山ロボット技術子供育成会

夏休み子どもたちや親子を対象として、大学等で開発されたロボットを展示しました。人とロボットのかかわりや多様に広がるロボットの世界を身近に感じてもらうとともに、地域の最先端科学技術を紹介しました。

地域でつ 域学連

ACTIV



10/27 田



経験からの学びを伝える木本さん(中央)

～つなげよう、支えよう～ 高梁川でつながる森川里海の力2018

- 場所** 林源十郎商店、倉敷公民館 他
- 参加学生** 保健福祉学科4年生… 1名、造形デザイン学科3年生… 4名
- 連携団体** 倉敷市環境リサイクル局環境政策部環境政策課

午前のセミナーに保健福祉学科4年生の木本千晶さんが登壇し、学生生活での地域活動によって成長できた経緯について、発表しました。午後は、「作って学ぶポップアップカード」のワークショップを実施し、デザイン学部西田麻希子准教授の指導のもと、学生4名が講師役となり、参加者ととともにポップアップカードを制作しました。

畝山 京子 さん 造形デザイン学科3年生

学生スタッフで何でも話し合いを重ね、参加者が楽しみながら、倉敷市の自然について学べるポップアップカードを4種類制作しました。当日はたくさん子どもたちが参加してくれて、とても楽しそうに取り組んでくれました。出来上がったカードを嬉しそうに何度も開けたり閉じたりしている姿を見て、達成感を得ることができました。

参加学生から
ひとこと！



学生と一緒に
ポップアップカードづくりに挑戦！

11/11 日～

岡山県立大学写真部

どこにどの写真を飾ろうか？検討する学生ら



～ふるさと写真館の設置～

- 場所** 八塔寺ふるさと村(備前市)
- 参加学生** 県立大学写真部… 13名
- 連携団体** 八塔寺ふるさと村
三国地区振興協議会
吉永総合支所

写真部の1年生が中心となり、「ふるさと写真館」を設置しました。今後も、四季折々の八塔寺ふるさと村の写真の展示を行う予定です。



地域でひろがる commons・キャンパス

健康づくりのためのウォーキングの秘訣& 健康づくりのための食事

- 場所** 地域創生 commons かさおか
- 担当** 人間情報工学科… 綾部誠也准教授
栄養学科… 久保田恵教授
- 連携団体** 笠岡市健康福祉部健康推進課

第一回目の参加者は笠岡市民15名で、座学後に脈拍センサーを取り付け、約1時間、およそ5kmのウォーキングを行いました。また、第二回目は参加者10名で、健康づくりのための食事、特に低栄養予防に関する講話を行いました。

10/17 水



11/9 金



つながる 携活動

VITIES



おかやま健康応援プロジェクト in 笠岡健康まつり

- 場所** 笠岡市保健センター
- 参加学生** 情報系工学研究科2年生…2名
- 担当** 人間情報工学科…綾部誠也准教授
- 連携団体** 笠岡市健康福祉部健康推進課

域学連携事業の一環として、笠岡市保健センターで開催された健康まつりinかさおかを笠岡市とともに開催しました。当日は笠岡市民約200名が参加されました。

11/4 日



笠岡市民の身体計測を行う大学院生

HATTOJIプロジェクト

田中 柚月 さん 造形デザイン学科1年生

今回地元の方々と関わらせて頂き、共に活動していく中で、「ただのボランティア」ではなく、相互性のある活動にするにはどうしたらいいか考える良い機会でした。こういった活動に参加するのは初めてで、最初は不安でしたが、終わってみると楽しいことばかりで、人として一回り成長出来たのではないかと思います。

参加学生から
ひとつこと!

写真部HATTOJIプロジェクト1年生チーム!



~三国溪紅葉祭りへ参加~ 11/11 日

- 場所** 鳥ヶ鳴公園(備前市)
- 参加学生** 県立大学写真部…9名
- 連携団体** 三国地区振興協議会

三国溪紅葉祭りに写真部1年生9名が缶バッジワークショップを出店しました。32名の来場者がオリジナル缶バッジづくりに参加しました。

備前市子ども応援フェスタ

~岡山県立大学のお兄さん・お姉さんと遊ぼう~

- 場所** 備前市総合運動公園体育館
- 参加学生** 保健福祉学科…17名、就実大学…5名
- 担当** 保健福祉学科子ども学専攻…佐藤和順教授・柏まり准教授
- 連携団体** 備前市保健福祉部子育て支援課

学生企画の新聞紙プール(未就学児用)と大型オセロ(小学生用)を実施しました。未就学の子もたちは、勢い良く新聞プール(写真上)に飛び込んだり、保護者の方と一緒に楽しむ姿が見られました。大型オセロ(写真下)では、20枚のカードを自分の色に返し続けるゲームで、元気な小学生が大学生と対戦しました。勝つまで再挑戦する小学生の姿もあり、大いに盛り上がりました。

11/10 日



明神 千恵 さん

保健福祉学科子ども学専攻4年生
イベントでは、多くの子どもや保護者の方と関わりをもつことができ、私自身も楽しんで参加することができました。どのように進行するかなど、実際にやってみることで学べることがたくさんあり、実践を積み重ねることができるとてもよい機会であったと思います!

参加学生から
ひとつこと!

総社市復興支援健康教室開催

- 場所** 岡山県立大学体育館(総社市)
- 参加学生** 人間情報工学科…9名、情報系工学研究科…4名、栄養学科…4名
- 担当** 人間情報工学科…綾部誠也准教授、斎藤誠二准教授、栄養学科…入江康至教授、井上里加子助教
- 連携団体** 総社市保健福祉部健康医療課健康増進係、片山工業株式会社

総社市・片山工業(株)との産官学連携事業の一環として、「県立大学でリフレッシュ! 復興支援健康教室」を開催しました。平成30年7月豪雨の被災された総社市民を本学メディカルフィットネス講座に招待し、地域住民や学生と交流しました。

池島 翔太 君 人間情報工学科4年生

この事業は、平成30年7月豪雨で被災された総社市民のリフレッシュを目的として行われました。地域の方との触れ合いを通して、日頃の学内での学習では得ることができない現在の総社地域の課題を知る貴重な機会になりました。今後の勉強や卒業研究では、その解決に少しでも役立てるような成果を上げたいと感じました。

参加学生から
ひとつこと!

TOPICS



教育改革

7月～10月



真庭市勝山のクラフト市で案内役をしました！

6月～9月



真庭市木山での学生ミーティング

多くの成果を得た演習プログラム

「おかやまボランティア演習」は、履修者203名が18のプログラムで5日間、活動しました。また、「地域協働演習」は、履修者46名が7団体の受入れ先に10日間、お世話になりました。両演習を履修した学生は、地域団体とともに活動し、地域の課題発見、地域でのチャレンジによって、講義では学ぶことのできない多くのものを得たようです。



遠藤 祐貴君 人間情報工学科2年生

今回の活動では、全国の学生とつながりを持つことで、同じ境遇にいる仲間がいることを知るきっかけとなりました。異なる分野の学生とつながることで、新たな考えや価値観が生まれ、視野を広げることができたと思います。



備前市での活動をポスター発表する参加学生(写真中央:遠藤君)

10/6日～8月

全国公立大学学生大会 LINKtopos2018 in Shizuoka

静岡県立大学草薙キャンパスで開催された全国公立大学学生大会に3名の学生が参加しました。今回は、地域協働演習の備前市における活動「山陽道片上宿」の内容から「片上盆踊りの復活に向けて」を発表しました。学生にとって3日間は、他大学の学生とも交流でき、今後の活動に役立つ有意義な研修でした。

9/26水～11/21水

オムニバスで多彩な内容の 「おかやまを学ぶ」

第1回の岡山の歴史と文化から見る『「特質」と今』をスタートとして、『経済指標で見る岡山県』、『岡山県企業の海外事業展開』、『新聞記者から見た岡山県』、『見捨てられた人々』、『学びの原郷閑谷学校』、『地域の魅力や特色、地域課題から提案』へとオムニバスで岡山県を多方面から見ることのできる内容でした。



自治体から地域の魅力や特色の解説！



学生からの質疑に応える講師(左)と進行する榮特任講師(右)

11/15木

「地域インターンシップ」報告会

8月から10月にかけて、連携自治体である岡山県、総社市、笠岡市、備前市のインターンシップに、21名が履修した「地域インターンシップ」の学内報告会を開催しました。報告会には、受入先自治体の担当者の方も来学され、履修学生はそれぞれ、活動内容、活動から学んだものを発表し、政策提言を行いました。



活動内容を報告するインターンシップ生

編集後記 村井聡紀



第3号は、「地域との連携」を特集しました。県内各地で、県立大学生が地域の人々と一緒に地域づくりに汗を流しました。表紙には、真庭市で竹灯籠づくりに挑戦した大依さんに登場してもらいました。また、図書館のCOC+コーナーの充実を図りました。地方創生に関する本を購入するとともに、新たに「週刊東洋経済」と「週刊ダイヤモンド」を置くようにしました。これらは、将来学生の皆さんがどの分野に進むにせよ、必要な知識が一杯載っています。COC+ NEWS LETTERへのご意見、ご要望、記事の投稿をお待ちしています。

多くの社会人が
読んでいますよ！





産学連携

2回目の参加で、「ふしぎなカメラと糸電話で遊んでみよう!」を
に出展しました。中・高校生を含め、子供連れの家族が大変多く
り、糸だけでなく、針金や風船などを使って声を伝えてみる実験
い時を過ごしました。



講座では、就実大学真田准教授が会社を次世代に引き継ぐうえ
も大切な自社の経営分析について解説されました。第二回講座で
山県立大学林助教がデザインという学問の領域の解説や商品開
要不可欠なものとなること等について、事例を交えた説明が行わ
た。参加者の多くから、事業運営に大変有意義であったとの感想
ました。

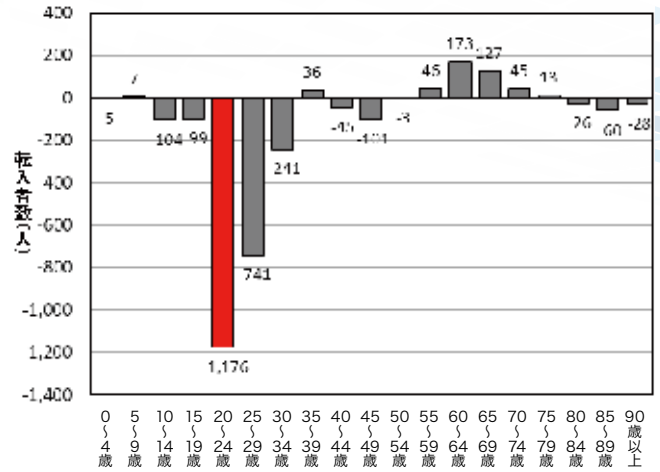
連載 七番勝負第三局

岡山県からの転出超過者数の 半分以上が20～24歳の若者!! ～岡山県の転入出者数の年齢別の状況について～

平成29年の住民基本台帳移動報告書によれば、岡山県から他の都道府県への転入出数を年齢5歳階級別にみると、転出超過者数は20～24歳で1,176人と最も多く、次いで25～29歳が741人、30～34歳が241人などとなっています。また、転入者数は60～64歳で173人、65～69歳で127人などとなり、合計で2,182人の転出超過となっています。20～24歳で転出超過者数全体の53.9%を占めており、岡山県の人口流出に歯止めをかけるためには、若者の地元定着を図るCOC+事業の推進が重要なことが分かります。

岡山県への転入者数の年齢別の状況

(平成29年度、マイナスは転出超過)



住民基本台帳人口移動報告 平成29年(2017年)結果 (総務省)を基に本学作成

COC+ クロスワードパズル

※カタカナでお答えください
※小文字の拗音(ヤ、ユ、ヨ)や促音(ッ)は大文字の直音として扱います

1	11		13		2	
			3	E		
4	F		12	B		15
		5			6	
7		D				
	A			8	14	
9			10			C

ヨコのカギ

- 総社市内の空き家を改修して創業するものに対する補助「そうじゃ〇〇〇〇応援事業」。
- 牛の背中への肩寄りの部分の霜降り状の柔らかい肉「〇〇肉」。
- FMくらしきの「〇〇〇」番組『明るい農村総社市』に片岡総社市長が出演。
- 自分に関係の無いことに興味本位で騒ぎ立てる人を指して「〇〇〇〇」という。
- 息子の配偶者のことを「〇〇」という。対義語は婿。
- 航海のために必要な水路の状況が、正確に見やすく表現されている「〇〇〇」。
- 米国西部・メキシコなどの牧場で、馬に乗って働く牛飼いを「〇〇〇〇〇」という。
- 総社市で生まれ育った雪舟は世界的水墨「〇〇」である。
- 総社市は、「〇〇」の製造品出荷額等が岡山県内No.1。「〇〇」わーど総社へ!
- 毎年2万人を超えるランナーが参加する「そうじゃ吉備路〇〇〇〇」。

タテのカギ

- 2016年のオリンピックの開催地はブラジルの「〇〇」でした。
- 貝の軟体を外側から包む石灰質等からなる硬い物質を「〇〇〇〇」という。
- 水陸両生の想像上の動物。鬼、天狗と並んで日本の妖怪の一つ「〇〇〇」。
- 温羅伝承で有名な地。国土防衛のために築かれた古代山城「〇〇〇〇〇」。
- 果実を塩漬けし、日干しにしたもので、おにぎりに使われる保存食品「〇〇〇〇」。
- 演劇、芝居すなわち劇のことを「〇〇〇」という。
- ある地域の人口が急激かつ大幅に減少した状態を「〇〇」という。
- 子育て王国そうじゃのマスコットのチュッピーは雪舟が涙で描いた「〇〇〇」の子ども。

回答	フ	A	コ	B	C	D	E	F
----	---	---	---	---	---	---	---	---

プレゼントに応募しよう!

PRESENTS

クロスワードパズルを解いて、プレゼントに応募しよう。連携自治体の総社市の問題を出題しています。必要事項を記入の上、右記メールアドレスまでご応募ください。正解者の中から抽選で10名様に「岡山県立大学グッズセット」をプレゼントします。(今回は総社市から小学校カラー等のプレゼントもあります。)



10名様

必要事項

- 件名に「クロスワードプレゼント」と記載。
- 本文に「答え」「氏名」「郵便番号」「住所」「年齢」「電話番号」を記載。

個人情報の取扱について

- お寄せいただいた個人情報は、当クロスワードパズル以外の目的には使用いたしません。

✉ メールアドレス : cocplus@oka-pu.ac.jp

締め切り : 平成31年1月31日 困